

■笠縫学区地域協働合校事業（笠縫学区まちづくり協議会 笠縫ツナガリ隊）

1 【活動の趣旨】

「子どもも大人も共に学び、共に育つ」地域活動を通して、子どもと大人がつながり絆を育むことにより子どもたちの成長を見守る。

2 【特徴的な内容】

○さつまいもの「苗植え体験」と「収穫体験」

笠縫小学校2年生の生活科の授業の一環でさつまいもの苗植え体験と収穫体験を実施した。

【日時】苗植え 5/17（火）、収穫 10/21（金）

【場所】笠っ子アドベンチャーパーク（下笠町）

【対象】笠縫小学校2年生（104名）

【協力】各事業 大人約30名



【苗植えの様子】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・苗植え・収穫ともに新型コロナウイルス感染症対策として1クラスごとの入れ替え制にし、子どもたちは10人ずつ、3畝に分かれて密にならないよう工夫した。
- ・苗を植えやすいように、あらかじめマルチに切り込みを入れ、棒で穴をあけておいた。
- ・苗を植える前に、子どもたちにさつまいもの品種や名前の由来、植え方の違いなどについて地域の方に説明していただいた。
- ・収穫では、事前に長く伸びたツルを切りマルチをはがしておいた。一部は学習用に残しておき実物を見てもらった。
- ・さつまいものに傷をつけないよう株の周囲にスコップを入れ、子どもたちが掘り起こしやすいようにした。
- ・川沿いには、カラーコーンとバーで注意喚起し、子どもたちが通行する際には、大人と一緒に付き添った。
- ・小さなさつまいもは、子どもたちがいもハンコとして活用し、学習の良い材料になった。



【収穫の様子①】



【収穫の様子②】

4 【事業の成果】

- ・子どもたちは、体験を通して、さつまいもの成長の様子や収穫までには色々な世話が必要なことを学んだ。育ててくださった方への感謝や食に対する関心、自然に触れることの楽しさを学んだ。
- ・子どもと大人だけでなく、大人同士も関わりあえる良い機会になった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・さつまいも事業は、子どもの学習の機会と子どもと大人が触れ合える機会として、継続していきたい。
- ・より多くの方に参加してもらえるよう、事業の周知・発信の方法を工夫していきたい。